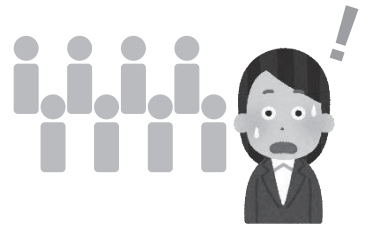


乳がん検診を受けられる方へ

～ 9人に1人が乳がんになる時代～

女性が生涯で乳がんにかかる確率は実に**9人に1人***。しかし、**早期がんの10年生存率は95%以上**です。検診によって早期発見できれば、乳房を残すことができたり、治療期間の短縮や治療費の低減など多くのメリットがあります。



*国立がん研究センターがん情報サービス がん統計より

当協会では、消毒や定期的な換気などの感染予防対策を徹底し、安心して健診を受診していただけるための環境確保に努めています。

検診当日

汗が拭けるタオルやハンカチをお持ちいただき、上半身の脱ぎ着がしやすい服装でお越しください。

- マンモグラフィ検査

上半身裸になり、乳房を片方ずつプラスチックの板に挟んでX線撮影をします。 ※検査は女性技師が行います。



▼ 約1ヵ月

結果通知

- 「要精密検査」の方は、結果通知書をご持参のうえ乳腺外科または外科で**精密検査を必ず**受けてください。
- 「異常認めず」の方でも定期的にご自身で乳房をチェックし、自覚症状があった場合は医療機関の受診をおすすめします。

マンモグラフィ検診を受けることができない方

- 体の中に以下の**医療機器**が入っている方
 - ・心臓ペースメーカー（心筋に電気刺激を与え、必要な心収縮を発生させる機器）
 - ・シャントチューブ（脳からの液体をお腹の中に流す装置）
 - ・CVポート（血管内に薬剤を注入するための機器）
- 乳房の**美容整形**を受けたことがある方 ※乳房を小さくする手術や注射のみの場合も含まれます。（人工物や手術による組織の変化により、写真の診断が正しくできない場合があります。）
- 妊娠中**、または**妊娠の可能性**がある方
- 授乳中**の方（授乳中は乳腺が発達しているため、写真の診断が正しくできない場合があります。）
- 現在、**しこり**や**痛み**などの**自覚症状**がある方（検診を待たずに、医療機関を受診してください。）
- 乳がん手術後**の方や**経過観察中**の方（経過年数にかかわらず、お受けになれません。）